

平成30年 北海道胆振東部地震 花川病院に関するご報告

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。

健育会グループでは、「花川病院/介護老人保健施設オアシス・在宅事業部」が北海道石狩市にて被災し、地震発生日より対応を行っております。現地の状況と対応は以下の通りです。

9月6日（木） 03時08分 地震発生

「花川病院」「介護老人保健施設 オアシス21」「サービス付き高齢者向け住宅 花びりか」が停電と断水

- 電気は非常電源、水は、貯水タンクにためていた水で対応。
- 食事は非常食を提供。

9月6日（木） 日中

電話を通じて現地と本部で情報収集を行う

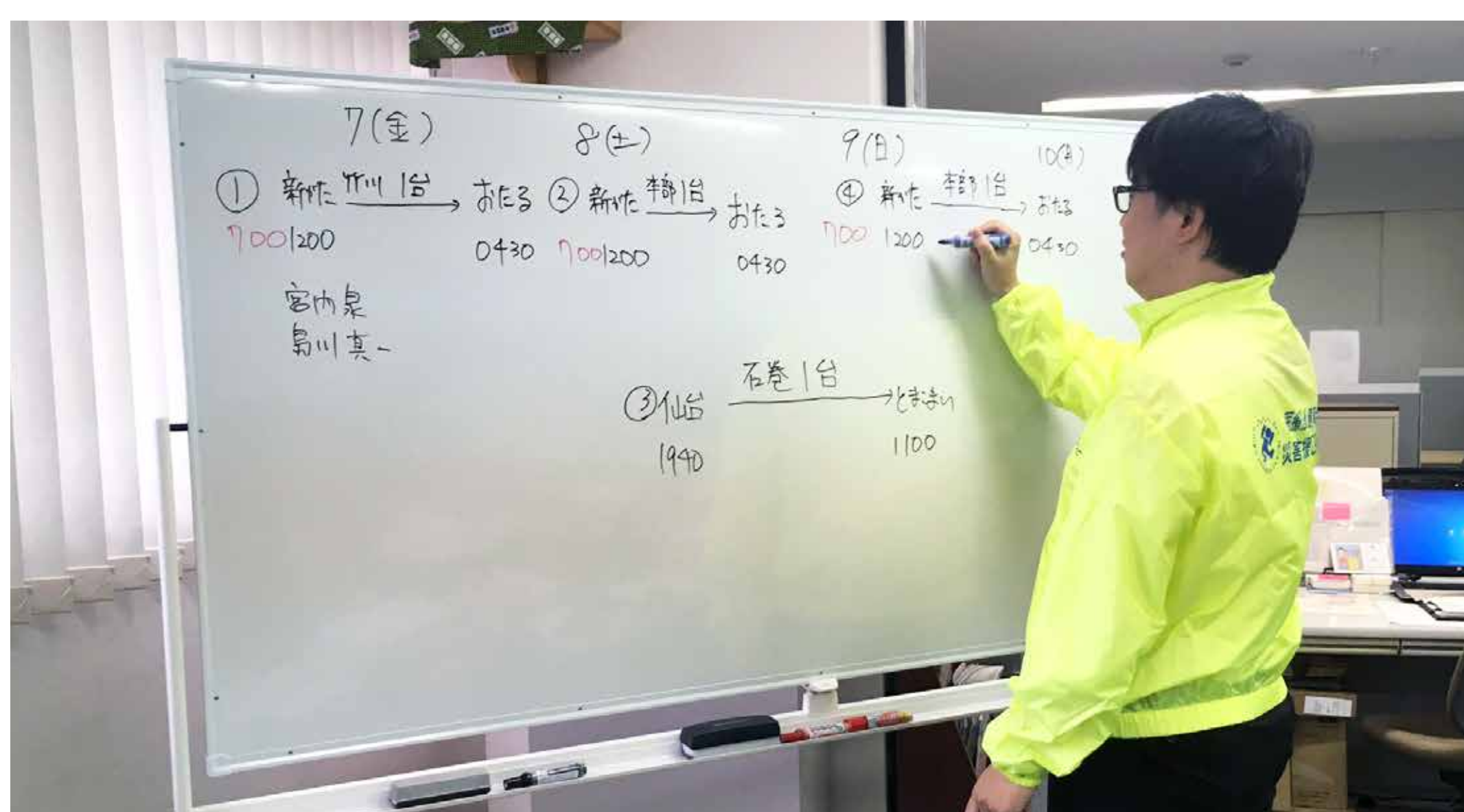
- 患者さん・職員の無事を確認。
- 途中、携帯電話・固定電話ともに繋がりにくくなり、東日本大震災の後に配備した衛星電話で、本部と花川病院のやりとりを行う。
- 現地の状況が明らかになる。
 - ～ 非常用電源用の軽油調達のため、ガソリンスタンドに4～5時間程まち。
 - ～ 道路は信号が動いておらず、道もところどころ陥没している。
 - ～ 道内物流網が滞っていることから、物資不足の懸念あり。現地より要望あり。

支援物資の輸送の検討を開始

- 支援が必要な物資の情報を本部で取りまとめ。喬成会からも支援要望の物資リストが届く。
- 東日本大震災の経験から、石巻健育会病院、いわき湯本病院とも情報をやり取りして、必要と思われる物資についても意見をきく。

支援物資輸送ルート/輸送スケジュールの確定

- 陸路とフェリーのルートで、花川病院まで到達できそうなルートを調査。
 - ～ 以下の2ルートで到達できそうであることが分かった。
 - ・ 東京 → 新潟 → 小樽（フェリー） → 花川病院
 - ・ 石巻 → 仙台港 → 苫小牧港（フェリー） → 花川病院
- 支援物資の買い出しと車、ドライバーを手配。
- スケジュールを決定。



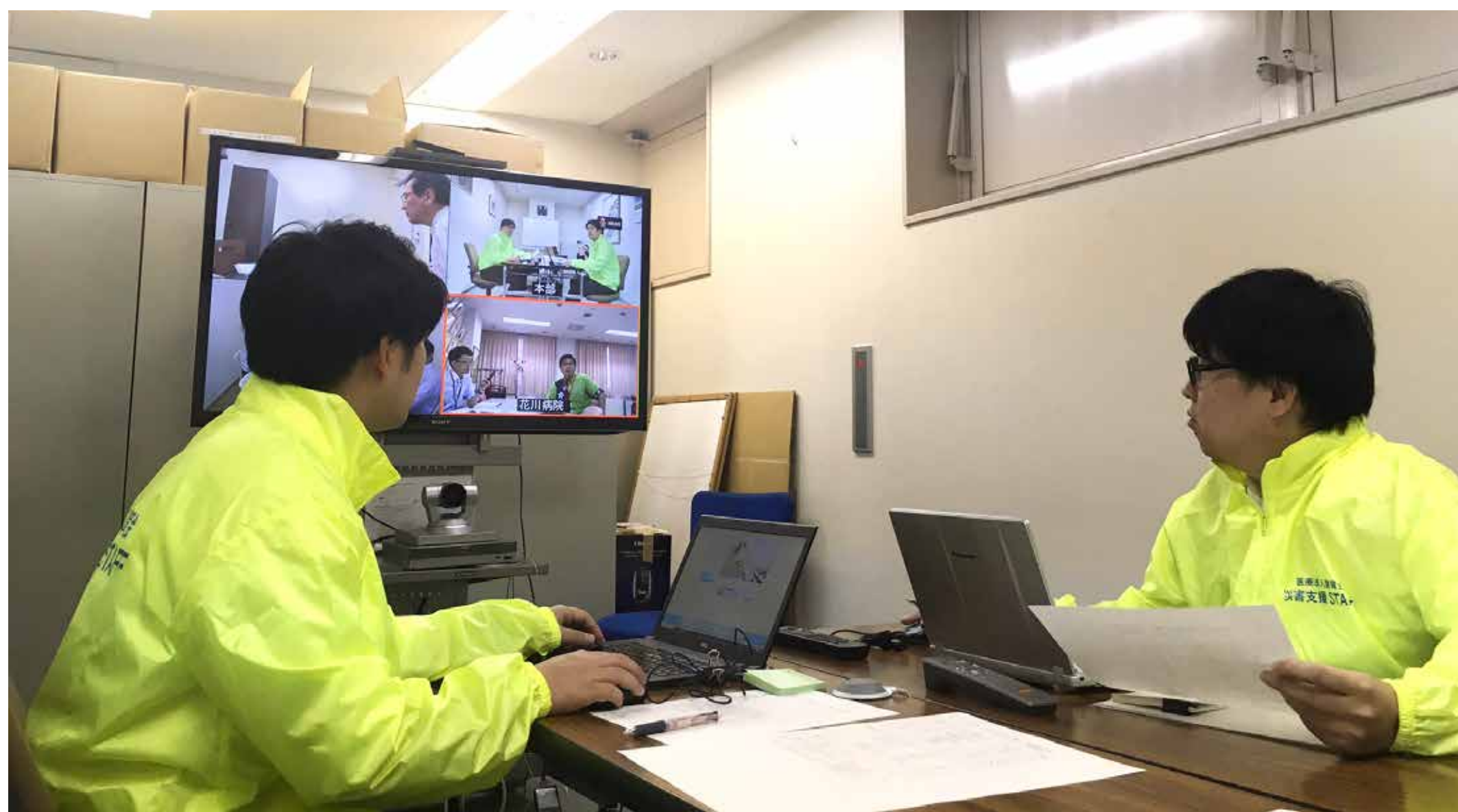
9月6日（木） 22時50分頃

現地にて電気/水道が復旧。

9月7日（金） 日中

早朝6時竹川病院より支援物資出発。

テレビ会議システム復旧。現地とテレビ会議システムによる情報共有開始。



支援物資輸送スケジュール（9月7日 正午現在 予定）

日時		東京	新潟港	小樽港	花川病院着
第1便 9月7日(金)	竹川病院からハイエース 1台 ドライバー 2名	9/7 6:00	▶ 9/7 12:00	▶ 9/8 4:30	▶ 9/8 6:30
第2便 9月8日(土)	本部からハイエース 1台 ドライバー 2名	9/8 7:00	▶ 9/8 12:00	▶ 9/9 4:30	▶ 9/9 6:30



健育会グループでは、石巻港湾病院（現 石巻健育会病院）/いわき湯本病院が被災した東日本大震災をきっかけに自然災害に対する備えを見直しており、今回の北海道胆振東部地震においても、その教訓が生かされています。

また、グループの結びつきが強く、「支え合い、助け合い」の文化が根付いており、今回も職員たちが現地においては患者さんへの医療を優先し、グループにおいては支援を早急に行うために使命感を持って動いています。

しばらくはこの地震の影響で様々な混乱が生じることが予想されます。

健育会グループでは、石狩地区の皆様が安心・安全に生活していただけるよう、「花川病院/介護老人保健施設 オアシス・在宅事業部」をグループの力でしっかりと支えてまいります。

追記

9月8日/9月9日の両日とも、本部、竹川病院からの支援物資が無事に「花川病院」に到着しました。



支援物資到着



職員が協力して荷物を積み降ろす



並べられた支援物資



支援物資を整理する本部スタッフ